

「巻頭特集」 「パパ好み」の松倉が歩んできた70年

今、改めて思う地元への感謝

大崎市古川の定番手土産として、愛され続けているパパ好み。製造・販売を手がける株式会社松倉は創業70年、看板商品のパパ好みも発売60年を超えた。同社の歴史やこだわりをはじめ、苦難に接して再確認した地元への感謝について話を聞いた。

売れ筋の精鋭が集結して誕生したパパ好み

大崎市出身者なら、誰もが一度は目にすることがあるだろう。ビールジョッキを手にはほほ笑むパパとママのイラスト。地元の名物として長く親しまれているパパ好みだ。そのパパ好みを生んだ松倉が、2021年に創業70周年を迎える。

松倉は1951(昭和26)年、豆菓子を中心に量り売りをする行商として創業。県内を自転車で回りながら商品を仕入れ、販売していた。当時の主力商品は、上白糖をまぶした、甘くて栄養価の高いピーナッツ。おやつの時間といえば緑茶と漬け物が主流だった時代に、甘い豆菓子の目新しさと人気を呼んだ。

その後、現在の場所へ店舗を構えて営業を続けていた折、創業者の松倉昭さんがあることに気付く。商品のなかで売れ筋が徐々に固定し、客の購入方法も定番化していたのだ。

松倉が商品づくりで守っているのは、あれれやおかきを丹念に焼き上げる製法。油で揚げると米やしょう油本来の味や香りが損なわれてしまうため、譲れないこだわりだ。地元の食材を使うことも常に意識しているという。そして近年、松倉が世に送り出した商品が、女子ごのみと、ささぼんだ。

2014年発売の女子ごのみは、女性にもっと米菓や豆菓子を食べてほしいと考案したミックスあられ。カラーゲン配合のあられや甘いおしるこクラッカーなど、女性目線のセレクトと、100パーセント宮城県産米を使用している点が特徴だ。

一方、2020年に発売したささぼんは、米菓を食べたいけれど歯が心配というお客さんの声をヒントに考案した。試作段階から古川管内

それなら、初めから人気商品を1つの袋にまとめてみよう。そんな発想から、1960(昭和35)年に誕生したのがパパ好みだった。

「現代っぽく言えば、お客さんのニーズに応えたということでしょう。か。先代は、お客さんに教えられて作ったんだけど、よく言っているんです」と一笑するのは、三代目の善輝さん。

当時、まだ馴染みの薄かったパパという単語を商品名に使ったのは、新しい時代を感じてほしかったから。ママも喜ぶというフレーズは、夫の晩酌のつまみにパパ好みをいせば、妻も楽しんでくれるのでは、という思いつきから。また、カタカナと漢字、ひらがなが混在するパパ好みの表記は、あれれやピーナッツ、小魚をミックスした様子が表現されているそう。パパ好みには、創業者の顧客ファーストの精神と柔軟な発想、ユニークさが散りばめられているのだ。

産ささと結を使用し、ボン菓子のような軽さと、ソフトなサクサク感。発売直後から上々の評判だった。

コロナ禍で芽生えた地元への感謝の思い

しかし、ささぼんを売り出した矢先に、新型コロナウイルスの感染が拡大。ささぼんはもちろん、お盆や年末年始のような人が移動する時期に売り上げを伸ばすパパ好みは、特に大きな打撃を受けた。気持ちは沈みがちだったものの、それでも大きな気付きがあったと善輝さんは語る。「県外からの人の流れが止まっていた時期でも、パパ好みなどの主力商品は緩やかに販売数が動いていたんです。それだけ地元の方、県内の方に食べていただいているんだなと実感しました。改めて感

謝の気持ちでいっぱいです」。

今年には震災から10年の節目の年。震災直後、シャッターが閉まらなくなった店舗を見て、営業しているところ勘違いし、買い物に来てくれた客とのやり取りを思い出す。「薄暗い店内で電卓をたたいて販売しましたよ。レシートも出ないし、おつりもないの」と、今では笑い話だ。震災前までは1つの工場で全商品を製造していたが、現在は工場が被災し製造がストップするのを回避するため、3つの工場で分散して製造している。

先代がよく口にしている「パパ好みは古川の人に育ててもらった」という言葉。その精神を踏襲しながら、創業70周年の今年、善輝さんは新たなアプローチを計画している。地元出身の漫画家とのコラボ企画による包装紙のアニバーサリーバージョンや、既

存パッケージを踏まえつつ女性の視点でパパ好みを捉え、ゆるくかわいイイラストで気軽に手に取ってもらえるパッケージの製作など、パパ好みを知らない層へ、まず食べてもらおうというアプローチだ。

今後は店舗商品のラインナップにも、強く地元色を出していくという。例えば、地域の酒蔵の酒米を使った米菓や、農家とのコラボ商品。地元企業とのコラボ商品は、お互いの店舗で販売できて販路も広がるのが魅力。ずっと続けていきたいです」と熱く語った。

贈答品も日常のおやつも揃い、大崎市古川で長く重宝されてきた松倉。看板商品のパパ好みを筆頭に、育ててくれた地元のお客さんに感謝しながら、今日も新たな地元の名物作りに励む。



パパ好み
1個108円(税込)～
丹念に焼き上げた数種類のあられと、アジやピーナッツをバランスよくミックス。お酒のお供はもちろん、緑茶やコーヒーとも相性抜群



女子ごのみ
1個162円(税込)～
カラーゲン入りのえびあられやおしるこクラッカーなど、女性向けに厳選した素材を組み合わせた。ハンドバッグ型(378円)は贈り物におすすめ



ささぼん 塩味
5枚入り378円(税込)～
JA古川管内産のささ結を使用し、2020年にお目見えした新商品。ボン菓子のような煎餅のような、軽い新食感がやみつきに。ずんだ味も人気



ずんだ煎餅
9枚入り378円(税込)～
今年生誕20周年になる、ずんだの風味を生かした煎餅で、生地に混ぜ込まれた大豆がずんだの食感を思わせる。常に松倉の人気上位を走る商品。プチサイズ(13枚入り378円)も

information

株式会社松倉

住所／大崎市古川前田町4-6
TEL／0120-048853
営業時間／9:00～18:30
定休日／元日のみ
<http://www.papagonomi.com/>



セル松倉
代表取締役
松倉善輝さん

大崎市古川出身。大学卒業後に東京の大学院でマーケティングの基礎を学びながら、企業に向向いて実践。その時培ったマーケティング力や人脈は、今の商品開発に大きく役立っている。品質保持のためというより純粋に自社商品が好きで、幼少期から今でもよく食べているそう



今年創業70周年を迎える松倉。パパ好みのパッケージにもアニバーサリーロゴを採用する予定